

学校運営方針		地域と社会に貢献する人材の育成 豊かな知性と情操を身につけ、地域・社会の有為な形成者となる健全な人格の育成を期する。		
重点目標		1 落ち着いて生活できる校風づくり 2 生徒1人1人が自己を見つめ力を発揮できる学校づくり 3 学ぶ楽しさを実感し、進路の希望を実現できる学校づくり 4 保護者・地域に信頼される学校づくり		
項目		評価	評点	
生徒指導	1. 落ち着いて生活できる校風づくり			
	A	基本的な生活習慣の確立 服装・頭髪指導、遅刻・早退・欠課の防止	一斉服装頭髪指導を3回実施 (頭髪指導は徹底されている。)	3.3
	B	交通ルール・マナーの向上 通学路指導・乗車指導・交通安全教育の実施	通学路指導の4回実施 (マナーの向上に成果)	3.3
	C	安心して学べる環境と集団作り イジメ暴力を許さない指導、校内巡視指導 校外の美化、人権平和教育	全校生徒対象のいじめ対策講演会実施 通学路清掃の実施(校外美化の向上に成果)	3.3
D	個々の生徒に応じた指導態勢作り 生徒相談態勢の充実、生徒理解のための職員研修の実施	相談室体制の充実(問題事例に迅速に対応した。) 学校独自のカウンセラー事業(月2回、生徒の悩みに対応できた。)	4.0	
特別活動	2. 生徒1人1人が自己を見つめ力を発揮できる学校づくり			
	E	HR・行事を通じた人間形成、集団づくり 修学旅行の充実、行事全般を通じて生徒を伸ばす指導	総合学習を主とした取り組み(人間力・コミュニケーション能力の育成に成果があった。)	3.8
	F	生徒会活動を通じた人間形成、集団づくり 委員会活動の活性化、ルーム長・役員合宿の実施 自主性を重視した生徒会運営 行事への全員参加態勢の工夫	生徒会活動での成果(文化祭をとおしたリーダーシップ能力の育成に成果があった。)	4.0
G	クラブ活動を通じた人間形成、集団づくり クラブ加入の促進、クラブ活動への支援態勢づくり	クラブ加入率には大きな変化が見られない。 クラブ活動の活性化が課題である。	2.7	
学習指導・進路指導	3. 学ぶ楽しさを実感し、進路の希望を実現できる学校づくり			
	H	わかる授業の実践による基礎学力の定着 ノート等提出物の点検と指導、授業への取り組み評価 生徒による授業評価、教員の授業交流	各教員の自己評価と連動した授業の工夫の実施 生徒による授業評価は研究の必要性を感じている。	3.8
	I	将来を見据えた教育課程の構築 特徴ある教育課程の研究、選択科目の検討	生徒個々の将来に応じた教育課程の構築	3.2
	J	特徴ある総合学習の構築 各学年総合学習の時間の充実、研究と視察、将来の企画	1学年グループエンカウンターによるコミュニケーション能力の育成と全員による保育園実習 2学年全員の就業体験の実施(増加単位)	4.0
K	進路指導の充実 正しい職業観の育成(企業・学校見学や就業体験) 生徒の適性希望に沿った進学・就職指導 個別指導の態勢づくり、補習授業等の支援	各学年外部講師を招いて進路ガイダンス実施 1学年坂城町企業見学	3.9	
保護者・地域との連携強化	4. 保護者・地域に信頼される学校づくり			
	L	PTA活動・同窓会の充実 保護者のPTA活動への参加態勢づくり PTA総会・研修会の充実、100周年事業の構想	保護者アンケート=12月にアンケート実施 PTA行事への参加率向上が課題	3.1
	M	地域や教育機関との連携強化 「坂城高校を語る会」の充実 地元諸団体・企業との連携の具体化 保育園・中学校・大学等との連携	「坂城高校を発展させる会」の充実。12月に会議 坂城町との連携の拡充(平成21年バラサットに向けたプロジェクト・男女共同参画・村上義清供侍) 長野大学との連携をさらに強化(高大連携協定書調印式:12月20日)	3.9
	N	授業公開の充実 年2回の授業公開、研究授業の実施 坂城中学との授業交流	5月・11月に公開授業を実施。保護者、中学生が参観 1月に坂城中学校教員が本校で国語・数学の授業を実施(授業研究会) 教員相互の授業公開の検討	3.2
O	学校評価制度の利用 各種アンケートの実施と対応	12月生徒・保護者・教職員アンケート実施 アンケートの活かし方の検討が必要	3.0	